

■「令和の里海づくり」モデル事業における取組

活動地域：赤穂市坂越地区

活動団体：一般社団法人あこう魅力発信基地

モデル事業概要	
採択年度	2022（令和4）年度
モデル事業	坂越地区は、穏やかな坂越湾が広がるとともに、海と関わりが深い古いまち並みが残 り、茶臼山等・宝珠山等の里山資源にも恵まれている。これらの里海・里山・歴史的 まち並等の地域資源を活用した観光コンテンツを造成し、地域への人の流れと、資金 を生み出すことで保全と利活用のサイクルを作っていく。 本事業では観光コンテンツ造成に必要な、人材育成や住民や観光事業者間の合意 形成に向けた取組を実施。
背景	
地域の資源	【歴史】 ◇ 人形浄瑠璃や歌舞伎の演目「仮名手本忠臣蔵」の元となった「赤穂義士」の故郷 ◇ 北前船の寄港地として栄えた古いまち並み 【自然】 ◇ 気軽に海と触れることが可能な自然海岸 ◇ 茶臼山・宝珠山等のトレッキング等が楽しめる里山 ◇ 坂越湾には国の天然記念物に指定されている「生島樹林」が広がる生島 ◇ 牡蠣の養殖等 ◇ 古くから千種川河口の広大な干潟を利用した塩づくりが盛んで、全国的な知名度を有する「赤穂の塩」 【アクティビティ】 ◇ 坂越湾でのシーカヤック ◇ 茶臼山等でのトレッキング
地域の課題	◇ 上述した地域資源は、これまで地域住民の愛着や誇りによって守られてきたものであるが、保護・保全の活動を行うこと自体が目的化し、「何のために」といった動機づけが欠落しがちである。また、地域の少子高齢化の進展とともに、環境保護・保全のための活動の規模が縮小していくことが懸念される。
令和の里海づくり（保全と活用の好循環形成）	
好循環形成のビジョン	
（保全） ◇ 地域が主体となり、「坂越湾ふるさと海岸」の清掃・除草等の美化活動を実施。 ◇ シーカヤック実施団体により、アマモ藻場再生に向けた種子採取、種植え、モニタリング等を実	

施。

(活用)

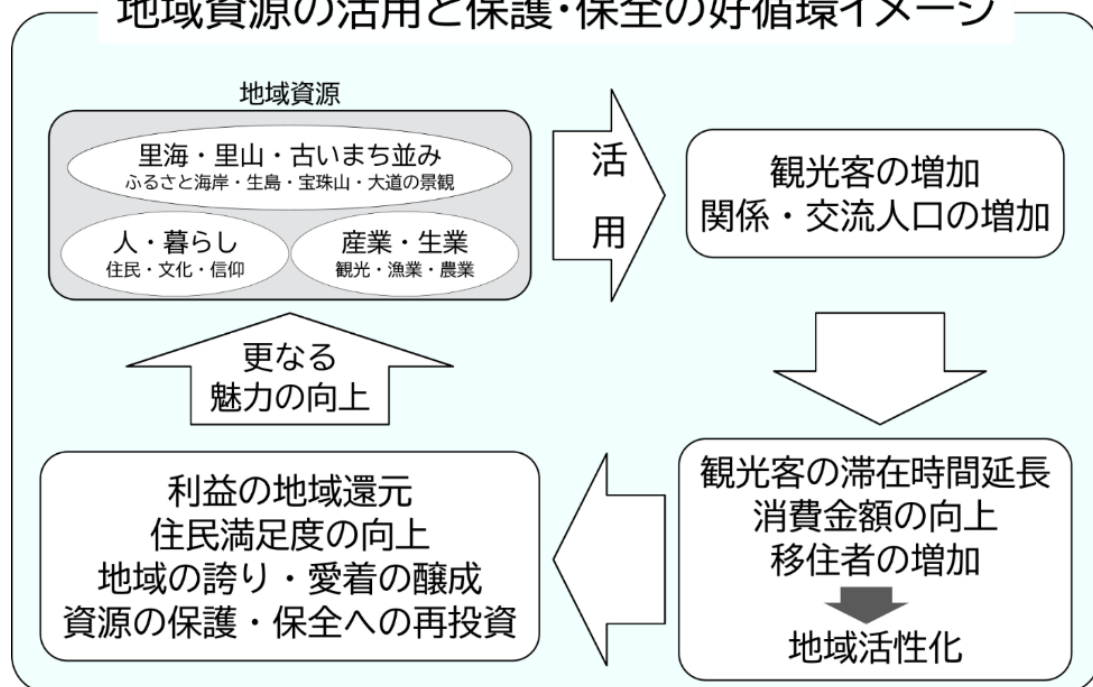
- ◇ 里山・里海・まち並みを使った観光ガイド商品を造成。

(好循環形成・促進)

- ◇ 観光ガイド商品の造成等を通じて、地域内の消費・流通の拡大や、関係・交流人口、移住希望者等の増加につなげる。
- ◇ 地域住民だけでなく、地域資源からの恩恵を受ける関係事業者や観光客を巻き込んだ観光まちづくりを進める。
- ◇ そのための人材育成や、関係者間の合意形成を進めるとともに、観光コンテンツの高付加価値化を図る。

<連携イメージ>

地域資源の活用と保護・保全の好循環イメージ



作成：一般社団法人あこう魅力発信基地